食品安全委員会
Food Safety Commission

平成２２年１０月４日作成
平成２２年１０月７日更新

# 毒キノコ（ニガクリタケ等）による食中毒防止について

１０月２日、東京都墨田区において、毒キノコ（ニガクリタケ）が販売されたことについて、プレスリリースがありました。

また、これまで、毒キノコが誤って販売される事例のほか、毒キノコによる食中毒事例が相次いで発生していることから、厚生労働省は「植物性自然毒を原因とする食中毒防止の徹底について」（平成２２年１０月６日、厚生労働省）等により、消費者及び食品等関係事業者に対する注意喚起を行っています。

きのこ狩りに出かける際には誤って毒キノコを採取しないよう十分に注意してください。

また、きのこ毒の概要及び関係機関からの情報提供について以下のようにまとめましたので、お知らせします。

## １．きのこ毒の概要

日本における自然毒食中毒の内訳としては、発生件数では植物性が約６５％、動物性が３５％です。さらに、植物性食中毒の内訳としては、毒キノコが約８０％、有毒植物によるものが約２０％と毒キノコによるものが多い状況です。

いわゆるきのこには栄養成分と特殊成分が含まれていて、特殊成分には薬効や毒作用成分があるとされていますので、注意が必要です。

きのこ毒による健康障害としては、急性のものと慢性又は潜行性のものがあります。

また、毒キノコの作用別分類としては、消化器障害型、神経障害型、原形質毒性型があります。健康障害と具体的なきのこの種類との関係は以下のとおりです。

＜毒キノコの作用別分類＞

| 作用など | | 潜伏期間 | 症状 | 毒キノコ名 |
|---|---|---|---|---|
| 消化器障害型 | | 20分～1時間 | 症状：吐き気、嘔吐、下痢 | ツキヨタケ, **クサウラベニタケ**, カキシメジ, ドクヤマドリ, ネズミシメジ、**ニガクリタケ** |
| 神経障害型(知覚及び神経系症状) | 副交感神経刺激型(ムスカリン様) | 30分～2時間 | 瞳孔縮瞳、腹痛、下痢、頻尿 | オオキヌハダトマヤタケ, アセタケ 、 |
| | 副交感神経麻痺型(アトロピン様) | 20分～3時間 | 異常な興奮、流涎、散瞳、筋線維性痙攣 | テングタケ, ベニテングタケ, ハエトリシメジ |
| | 中枢神経麻痺型(幻覚剤様) | 30分～1時間 | 口渇、幻聴、幻視、めまい、精神錯乱 | シビレタケ, ヒカゲシビレタケ, オオワライタケ |
| | 末梢血管運動神経刺激型(肢端紅痛症) | 数日～2週間 | 手足が焼けるような痛み・発赤 | ドクササコ |
| | ジスルフィラム型(アンタビュース様) | 飲酒後30分～1時間 | 顔面・頸部・胸部・手足のflushing現象、心悸亢進、呼吸困難 | ホテイシメジ, ヒトヨタケ, スギタケ |
| 原形質毒性型(致死率が高い) | コレラ様症状, 肝臓, 腎臓障害型 | | | ドクツルタケ, シロタマゴテングタケ, タマシロオニタケ,テングタケモドキ |
| | 溶血障害, 心機能不全型 | | | ニセクロハツ |
| | 毛細血管など循環器障害型 | | | カエンタケ |

（注：第７回かび毒・自然毒等専門調査会会合 山浦由郎専門委員作成資料をもとに作成）
http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20061127ks1

２．関係機関からの情報提供

○厚生労働省
- ニガクリタケのリスクプロファイル概要版
- クサウラベニタケのリスクプロファイル概要版
  ※自然毒のリスクプロファイル概要版
- 植物性自然毒を原因とする食中毒防止の徹底について」（平成２２年１０月６日、報道発表資料「厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長通知」）
- 墨田区で開催された「すみだまつり・こどもまつり」において毒性のあるきのこが販売された可能性があることについて（平成２２年１０月３日、報道発表資料）

○東京都墨田区
- 墨田区トップページ